

市町村に朗報!!

TECRIS検索システムの利用料を、平成16年4月にさかのぼって改定します。

	改定後	改定前	解説
市町村および 東京23区	1万500円/年間 1万500円/1ヶ所	10万5千円/年間 2万1千円/1ヶ所	年間利用料金が1/10 他部署の利用料金が1/2 つまり、1万500円×利用ヶ所数
国・公団	105万円/年間 10ヶ所で利用可	105万円/年間 2万1千円/1ヶ所	改訂前の年間利用料金で、 局内(庁内)の他部署や 出先機関など合計10ヶ所で 利用可
都道府県・ 政令市	52万5千円/年間 10ヶ所で利用可	52万5千円/年間 2万1千円/1ヶ所	

キーワードの階層化

TECRISのキーワードは発注機関が登録者の業務実績を検索するのに重要ですが、約17,400語もあるので登録者の意向と発注機関の選択が合致しない場合があります。そこで、キーワードの階層化を行い、登録者も発注機関も同じ意識で絞り込んだ後、キーワードを選択できるようにしました。以下に作業内容を説明します。

本作業は「08農業土木」「20電気・電子」「31建設電気通信」「33衛生工学（廃棄物以外）」「34応用理学（地質以外）」「37測量」を除く、21業務分野について行いました。

階層化したキーワード表は、TECRISのホームページに置いてあります。ダウンロードしてお使いください。

大分類:業務段階(企画、調査、設計等)で分けました。

中分類:大分類を、業務段階、用途、技術区分等で分けました。

小分類:大・中分類の分けに従い、該当するキーワードを集めました。

その他:TECRISデータベースから、使用が1回以下のキーワードを集めました。

キーワードの心得

交差点実施設計、交差点調査設計委託、交差点概略検討、交差点改良設計、交差点、交差点解析、交差点改良、交差点検討、交差点計画、交差点整合評価、交差点修正設計、交差点詳細設計、交差点設計、交差点飽和度、交差点予備設計、交差点立体交差、交差点協議、交差点切回し計画、交差点概略設計

これは、「交差点」を含むキーワードです。「交差点」だけでも、いろいろなキーワード候補があります。一見便利なキーワードには、思わぬ不便があります。登録者も発注機関も、キーワードの不便を知った上で、TECRISを活用しましょう。

登録者は、キーワードを選択する際に、以下を心がけましょう。

階層化したキーワード表を活用しましょう。
登録する業務にふさわしいキーワードを選びます。
TECRISのキーワード群に、のキーワードの同義語として何があるかを調べましょう。
1業務につき5キーワードまで記入できることを利用しましょう。
「新語キーワード」は、次期キーワードの検討に使うためのもので、発注機関は利用できません。

次に、検索システムでは、キーワードをどう設定すればいいでしょうか。「交差点検討」を選ぶと「交差点解析」「交差点改良」「交差点計画」「交差点」と記入した業務カルテは、検索されません。

発注機関は、キーワードを指定する際に、以下を心がけましょう。

階層化したキーワード表を活用しましょう。
TECRISのキーワード群に、検索する業務の同義語がどれくらいあるかを確認します。
検索システムは、1回の検索で3キーワードまで指定できることを利用しましょう。
同義語が1回の検索で足りない場合は、複数回の検索をしましょう。

発注機関コードと業務対象地域コード

業務を発注する機関（国土交通省・農林水産省など国の機関、公団、都道府県・政令市、市町村など）の統合または分散で、TECRISの発注機関名または業務対象地域名に変更があった場合は、以下の手順で記入します。

既に登録されている古い発注機関コードおよび業務対象地域コードは、JACICで新しいコードにコンバートします。

1)発注機関コード

発注機関新旧対応表(TECRISのホームページで公開中)で、新しい発注機関名を探します。

新しい発注機関名に対応する古い発注機関名を覚えます。

入力システムで古い発注機関コードを選択します。

入力システムでは、古い発注機関名を表示しますので、新しい発注機関名に修正します。

2)業務対象地域コード

入力システムで古い市町村コードを選択すると、古い市町村名が表示されます。その下段に新しい市町村名にカッコを付けて記入します。たとえば、21621岐阜県吉城郡古川町の場合は、“(岐阜県飛騨市)”を記入します。

業務カルテ受領書の登録日

業務カルテをJACICへ送ると、JACICは「業務カルテ受領書」を発行します。「業務カルテ受領書」には、JACICが業務カルテを受け取った日付を「登録日」として記載します。業務発注機関は、「業務カルテ受領書」の「登録日」で業務カルテがいつ登録されたかを確認します。

ところが、登録した業務カルテに間違いがあり、業務カルテを訂正すると、「業務カルテ受領書」の「登録日」には訂正した日付を記載します。正しい業務カルテが登録されたのは、訂正された日ですから。

業務カルテは、正しく、丁寧に作成しましょう。

ちょっとここで

友愛数

「友愛」という言葉で、まさか、数学は連想しませんよネ。220と284は「友愛数」だそうです。では、220と284はどんな数字なのでしょう。

1) 約数

aという数字を割って、余りの出ない数字をaの約数といいます。従って、1と自分自身(a)は、必ず約数となります。たとえば、220の約数は、まず、1と220があります。その他に、220を2で割っても余りが出ませんので、2も220の約数です。同様に、4も5も10も220の約数です。220の約数を全て並べると

{ 1, 2, 4, 5, 10, 11, 20, 22, 44, 55, 110, 220 } となります。

2) 友愛数

220の約数(ただし220は除く)を、足し算すると284となります。

$$1 + 2 + 4 + 5 + 10 + 11 + 20 + 22 + 44 + 55 + 110 = 284$$

284の約数は、{ 1, 2, 4, 71, 142, 284 }です。約数(ただし284は除く)を、足し算すると220となります。

$$1 + 2 + 4 + 71 + 142 = 220$$

一方の数の約数(自分自身は除く)の和が、他方の数になるような1組の数を「友愛数」といいます。

発見されている550組の友愛数の中で、最もかわいいカップルが220と284です。

さて、1,184君から1,210さんへ交際の申し込みがありました。あなたなら、このカップルを認めますか。

答えはTECRISのホームページに載せておきます。

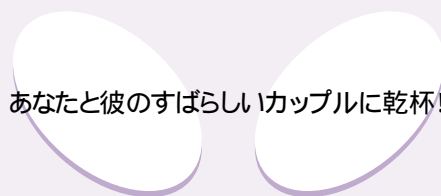
3) 余談

あなたの約数 = { 1, a, b, あなた }

あなたの約数の和(あなたを除く) = $1 + a + b =$ 彼

彼の約数 = { 1, c, d, 彼 }

彼の約数の和(彼を除く) = $1 + c + d =$ あなた



あなたと彼のすばらしいカップルに乾杯!

「業務カルテ」のインターネット送付

1,184君と1,210さんは素敵なカップルです。TECRISのホームページでそれを確認できた方は、インターネットをお使いですので、業務カルテをインターネットで送ることができます。業務カルテをFD(フロッピーディスク)に収めて送るのは、もったいないでしょう。

FDを送る作業(梱包、宛名書き等)が!

FDの配達時間(2日程度)が!

発送料(600円程度)が!

FDは壊れやすいから、梱包にも気を遣うでしょう。宛名書きも大変ですネ。「業務カルテ受領書」を受け取るまで3日も掛けてはいませんか。「業務カルテ」をインターネットで送ると、受領書は5分ほどで受け取

れます。即座に受け取れることに加え、登録した今までの「業務カルテ受領書」が管理されていて、いつでも、何度でも、取り出すことができます。もう、「業務カルテ受領書」を紙で保管する必要はないですネ。便利でしょ。さらに、「業務カルテ」の登録状況を確認できるので、「登録したつもりが、登録されていない」、「契約登録はしたが、完了登録を忘れている」などがなくなります。

「業務カルテのFD送付」は、もう少数派です。20%に足りません。まだFDを送付している方は、急いでインターネット化しましょう。

従来の「オンライン登録」(KDDIのDODを利用した業務カルテの送付)は、平成17年3月31日で廃止します。早いうちにインターネットに切り替えましょう。

受領書のダウンロード

「業務カルテ」をFDで送っていたときは、「業務カルテ受領書」は電子メールか、FAXで送られて来ましたが、でも、「業務カルテ」をインターネットで送ると、口を開けて、待っていても「業務カルテ受領書」は送られて来ません。自分でダウンロードします。「業務カルテ」を送ったら、「業務カルテ受領書」を、いつでも、何度でも、取り出せる所を覗いてみましょう。

電子証明書の年度更新

「業務カルテ」をインターネットで送ると、とても便利そうなので、「業務カルテ」はインターネットで送りたいなりましたネ。「業務カルテ」をインターネットで送るには、「電子証明書」が必要です。「電子証明書」は、TECRISのホームページから取得できます。

ところが一度「電子証明書」を取得したからといって安心はできません。「電子証明書」には、有効期限があります。年度内(3月31日まで)しか使えません。平成17年度も「業務カルテ」をインターネットで送るには、「電子証明書」の更新が必要です。

更新手順の説明資料は、平成17年2月から「電子証明書」取得済みの方へ、電子メールで送ります。更新手順に従って、「電子証明書」を更新してください。多くの「電子証明書」取得済みの方へ順次送りますので、電子メールの到着が遅れる場合がありますが、必ず電子メールを受け取ってから「電子証明書」の更新作業を行ってください。

今後、「電子証明書」の更新作業は、1年に1度、毎年度末に必要となります。

ご意見をお聞かせください。

TECRISについて、日頃思っていることをお聞かせください。簡素化、改善要望など何でも結構です。TECRIS改良のヒントにしたいと思しますので、理由および具体的な背景を添えた建設的な意見をお願いします。全ての意見を聞ける訳ではありませんが、ざっくばらんに発言してみてください。発注機関の方も、検索システムを使う立場で発言してください。たとえば...

契約金額500万円未満業務、補償コンサルタント業務も登録したい。
技術データの項目は、データを作成しづらい。
業務データとして記入している発注機関の電話番号は不要。

電子入札システムご利用の皆様へ

皆様からの、電子入札システムに関する問い合わせを、FAQ(よくある質問)にまとめ、e-BISCセンターのホームページに掲載しています。電子入札システムを利用する際は、ぜひご覧ください。

なお、質問等がありましたら、e-BISCセンターのヘルプデスクへ、電話、FAXおよび電子メールで連絡をください。

電子入札施設管理センター (e-BISCセンター)

e-BISCセンターホームページ (URL : <http://www.e-bisc.go.jp/>)

ヘルプデスク 電話 : 03-3505-0514 e-mail : helpdesk@e-bisc.go.jp

FAX : 03-3505-8102



Japan Construction Information Center

財団法人 日本建設情報総合センター
CORINS/TECRISセンター

〒107-8416

東京都港区赤坂7丁目10番20号

アカサカセブンスアヴェニュービル4階

TEL.03-3505-2973 FAX.03-3505-2974

電子メール tecris@sup.jacic.or.jp

TECRISホームページ <http://www.ct.jacic.or.jp/tecris/>